

## 「ことぶき号」の

## 運転適性検査を実施

夏の交通安全県民運動期間中の7月20日、鳥取県警から運転適性診断車「ことぶき号」が、おおくに田園スクエアにやってきました。

「ことぶき号」は、CRT運転適性検査機を3台搭載した車で、画面を見ながらペダルやハンドルを操作することにより、反応時間や誤りを測定するもので、自分の運転特性や弱点を確認し、これを補う運転方法をすることで交通事故防止を図るものです。

参加者からは「難しかった」「ゲーム感覚で楽しめた」「自信をなくした」「あらためて安全運転に気をつけたい」「年に一度はやってみたい」などの意見があり、それぞれ適正検査の結果に一喜一憂していました。



真剣さの中に、笑顔がはじめて...

## 925 913 鉄人レースに懸ける 熱き想い



7月18日(日)梅雨も明け、灼熱の太陽が照りつける中開催された「第30回全日本トライアスロン皆生大会」水泳3km、自転車145km、マラソン49.195km...全190.195km!!

この鉄人レースに、ここ南部町から出場した田子功司さん(境)、細田恵誠さん(江原)、市村保さん(法勝寺)の3人のアスリートに話を聞きました。

### Q.今回で何回目の出場ですか?

- A. (田子さん・No.927) 10回目  
(細田さん・No.925) 14回目  
(市村さん・No.913) 3回目

### Q.過酷なレースになぜ出よう?

- A. (田子さん) 健康維持ですね  
(細田さん) 今回のレースに限り理由は3つ  
①国際緊急消防援助隊に登録され、更にハードな現場での仕事をしなければならないので、今の自分の体力の限界を知りたかった  
②皆生大会に第1回から30年間携わってきたので、その時代の移り変わりを肌で感じてみたかった  
③自分の子供が全国を追っかけ頑張っている姿を見て刺激を受け、自分ももう一度熱い思いをもって取り組んでみたいと思った  
(市村さん) もしかしたら自分にも出来るかも...と思った

### Q.3つの競技で一番キツイのは?

- A. (3人共同) 自転車!!  
(理由は?) 唯一トライアスロンで道具を使う競技なのでパンクしたり、風(天候)にとっても左右される。あと手入が大変。もちろん、脚や腰、おしりが痛くなるし(苦笑)

### Q.掛け声でうれしい言葉は?

- A. (田子さん) とにかく何でもうれしい

(細田さん) 「あきらめるな!」

(市村さん) 細田さんから言われた「絶対あきらめるな! 歩くな!」今でも守ってます(笑)

### Q.トライアスロンの魅力は?

- A. (田子さん) 選手の時、自分の限界を追い及ぶ神様と近くなれた...そんな気になる瞬間がある。ボランティアの時、選手みなさんのエネルギーをもらえるし、その場にいるだけで元気になれる  
(細田さん) 自分に生きる力と勇気を与えてくれる  
(市村さん) 限界を感じたい

### Q.うれしいと思う瞬間は?

- A. (田子さん) 選手でも、ボランティアでも、年に一度、県内外の共に闘った仲間に出会える  
(細田さん) 今大会に限っては、同級生がたくさん応援してくれました  
(市村さん) 沿道で応援してくれる子どもたちとハイタッチをしながら走る時、笑顔で喜んでくれているのを見るのがうれしいですね

### 最後に...

今後は?と尋ねると「応援する方も選手から元気をもらう。選手も応援の方から元気をもらう。選手、ボランティア...どんな形でもずっとこの皆生大会に携わっていきたい」と話された三人。彼らの挑戦はまだまだ続きます